

平成22年度

私立学校実務者研修会 「教育課程と私学」研修会（東日本） 報告書

2010年6月24日

2010年6月19日土曜に「教育課程と私学」研修会を、東京都豊島区西巣鴨にある淑徳巣鴨中学・高等学校を会場として開催した。プログラムは、

研修1－解説

演題「新学習指導要領の解説」

講師：梶山正司（文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教育課程 室長）

研修2－質疑応答

演題「新学習指導要領と教育課程に関する質疑応答」

講師：梶山正司（部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教育課程 室長）

研修3－研究協議 「私学の教育課程」

分散会1 友野清文（昭和女子大学准教授）

分散会2 小岩利夫（八王子高等学校室長）

分散会3 小野新平（元日本私学教育研究所専任研究員）

分散会4 吉村 浩（本郷中学・高等学校教諭）

分散会5 江口正道（カリタス女子中学・高等学校教諭）

分散会6 伊藤康之（元工学院大学附属高等学校教諭）

分散会7 山路 進（日本私学教育研究所主任研究員）

分散会8 大森隆實（日本私学教育研究所専任研究員）



参加者は、東日本を中心に138名であった。午前中の「新学習指導要領の解説」では、文部科学省の梶山正司室長から、高等学校学習指導要領「総則編」解説・新学習指導要領の解説（A4判60ページ）に基づき詳しい解説を頂いた。午後からは、「新学習指導要領と教育課程に関する質疑応答」を行い、

予め5月末までに参加者に頂いた質問を整理してまとめ、この質問事項すべてを90分間でご回答頂いた。

まとめた質問事項は、「全体」、「総合的な学習の時間」、「学校設定科目及び学校外学修の単位認定」、「小学校」、「中学校」、「高等学校」、「移行措置」、「入試（大学、高等学校、中学校入試）」、「指導要録」に分類され、全部で43項目であった。加えて、当日の会場からも質問を頂き、回答があった。休憩後、8つの分散会（約20名）に分かれ、新しい学習指導要領に対応した「私学の教育課程」について、活発な情報交換が行われた。

研修会の事後のアンケートには、次のような意見が記されていた。「新学習指導要領の解説」では、学習指導要領改訂の経緯や背景を説明頂いた事で、学内での教育課程の組み方（考え方）のヒントになった。特に、観点別評価の手順についての理解が深まった。「新学習指導要領と教育課程に関する質疑応答」では、具体的な例にそって指導要領の解釈の仕方が分かりやすく説明されていた。特別活動と総合的な学習の時間の扱いについて理解が深まった。自分では気づかなかった多くの疑問点を意識できて良かった。研究協議「私学の教育課程」では、今後のカリキュラム編成において大切な事を知ることができました。各校の向かい合う課題は多様ですので、情報交換の場として貴重な研修会でした。学校環境がそれぞれ異なる先生方の抱えていらっしゃる課題や取り組みを実際に伺って参考になりました。

研修会を受講しての感想は、今後とも同様な研修会を開催してほしい。いろいろな学校でそれぞれの新教育課程の準備を進めていることがわかり、参考になった。次回は、具体的に新しいカリキュラムの情報交換ができたと思う。など、肯定的なご感想を頂いた。

活発な質疑応答、情報共有が行われ、新しい学習指導要領に対応する私学の教育課程が熱心に検討された。

（文責：山路）